

## 第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に保管し、服用の際には必ずお読みください。



## 漢方製剤 八味地黄丸（錠剤）

八味地黄丸は比較的体力がなく、手足が冷え、疲れやすい方の頻尿、夜間尿、軽い尿もれ、高血圧に伴う肩こり・耳鳴りなどを改善します。体を温め、水分の代謝を調整する働きがあります。

本剤は生薬を粉末にして、八味地黄丸の処方にしたがって配合し、服用しやすい錠剤としました。



### 使用上の注意

#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

- (1) 胃腸の弱い人。
- (2) 下痢しやすい人。



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人。
- (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

| 関係部位 | 症 状             |
|------|-----------------|
| 皮 膚  | 発疹・発赤、かゆみ       |
| 消化器  | 食欲不振、胃部不快感、腹痛   |
| その他  | 動悸、のぼせ、口唇・舌のしびれ |

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 〔効能・効果〕

体力中等度以下で、疲れやすく、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渴があるものの次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善(肩こり、頭重、耳鳴り)、軽い尿漏れ

## 〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

| 年 齢          | 1 回量    | 1 日服用回数 |
|--------------|---------|---------|
| 成人（15 才以上）   | 6 錠     | 3 回     |
| 7 才以上 15 才未満 | 4 錠     |         |
| 7 才未満        | 服用しないこと |         |

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)食間とは食後2～3時間を指します。

## 〔成分・分量〕

18錠中

|                |                |
|----------------|----------------|
| 日局ジ オ ウ…………… 8 | 日局サンシュユ…………… 4 |
| 日局サンヤク…………… 4  | 日局タクシャ…………… 3  |
| 日局ブクリョウ…………… 3 | 日局ボタンピ…………… 3  |
| 日局ケ イ ヒ…………… 1 | 日局ブ シ 末…………… 1 |

上記生薬の粉末(八味地黄丸)6.0gを含有しています。

添加物として、ステアリン酸Mg、タルク、CMC、ヒドロキシプロピルスターチ、メタケイ酸アルミン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

## 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)吸湿しやすいため、服用のつどビンのフタをよくしめてください。
- (5)本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがありますが、効能・効果にはわかりありません。
- (6)本剤をぬれた手で扱わないでください。水分が錠剤につくと、錠剤表面が変色したり、亀裂を生じることがあります。
- (7)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店あるいは下記にお願いいたします。  
ジェーピーエス製薬 お客様相談室  
電 話 045-593-2136  
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェーピーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1  
発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22